



野木小だより

平成31年2月20日
— 第10号 —
野木町立野木小学校長
生 沼 房 子

第2回学校評価結果をお知らせします

本校では、学校教育目標を達成するために**4つの努力点で16の重点項目**を設け、数値指標を掲げて教育活動に取り組んでいます。その評価は年に2回実施し、第1回（7月：児童と教職員による自己評価）の結果は野木小だより第5号でお知らせしたとおりです。

今回は第2回にあたり、児童、教職員に加え保護者と地域の皆様にご協力いただきました。保護者の皆様にはすでに詳細な結果をご報告しましたが、地域の皆様にもこの紙面で簡単にご報告させていただきます。

※以下の表では、各設問4段階の回答のうち「よくあてはまる」「ややあてはまる」を選んだ人の割合が数値指標を達成できれば○、達成できなければ△としました。

【努力点1】行動しよう 《つよく》

心身ともにたくましい子どもの育成 (数値指標)	児童	教職員	保・地
からだを使った遊びや運動 (90%)	○	○	△
好き嫌いしないで食事 (90%)	○	△	△
うがい・手洗い・菌みがき (90%)	○	○	△
安全な生活 (交通安全・避難訓練) (100%)	△	○	△

学校においては休み時間等に児童自ら進んで外遊びをする姿が多く見られました。休日や下校後も体を使った遊びや運動の習慣づくりができるよう、「**パワフル健康カード**」のより効果的な活用を図ります。

食事の好き嫌いについて、児童なりに頑張っているようです。引き続き食育の充実を図ります。

安全面では、交通安全・避難訓練ともに毎回方法を変えて取り組んでいます。毎日の登下校でさらに交通安全を意識させていきたいと思ひます。

【努力点2】見つけよう 《あかるく》

思いやりのある心豊かな集団づくり (数値指標)	児童	教職員	保・地
あいさつ・言葉遣い (90%)	○	△	△
互いを思いやる行動 (90%)	○	○	○
自分のよいところ・得意なこと (85%)	○	○	△
楽しく学校に登校 (90%)	○	○	○

あいさつ・言葉遣いに関する教職員・保護者地域の方の評価は今年も指標を達成できませんでした。保護者による声掛けボランティアの反省では、あいさつができていところ、できていないところと地域によってとらえ方はまちまちです。児童会によるあいさつ運動や全教職員での働きかけなど、今後も工夫改善を図ります。

自分のよいところに関し、指標をわずかに下回りました。どの子も自己肯定感をもてるよう、よさに気付かせる周囲からの声掛けが望まれます。

【努力点3】深めよう 《いきいきと》

分かる授業を通した確かな学力の保障 (数値指標)	児童	教職員	保・地
自分の思いを一行日記に書く (80%)	○	○	○
家庭学習 (宿題・自主学習) (80%)	○	○	△
読書 (読書が好き) (80%)	○	○	△
授業の内容を理解 (80%)	○	○	○

連絡帳への一行日記を継続することで、書く力が付いてきています。その内容をもとに学校での様子についてご家庭でも話題にし、お子さんとの会話を増やしていただけるとよいと思ひます。

家庭学習の習慣形成はとても重要で、毎日少しずつでも机に向かえるよう、宿題や自主学習の課題の出し方についてさらに工夫を図ります。

毎朝10分間の読書の時間では、どの子も集中して読書を楽しんでいます。「**家読(うちどく)カード**」の提出も増えていますので、引き続き家でも本に親しめるよう呼びかけていきます。

【努力点4】つながろう 《連携》

家庭や地域、関係諸機関との連携による開かれた学校づくりの推進 (数値指標)	児童	教職員	保・地
各種たより、連絡帳 (90%)	○	○	○
保護者や地域の方との学習 (95%)	△	○	○
家の人に学校のことを話す (95%)	△	○	○
町小中スタンダード (言葉遣い) (90%)	○	○	△

子どもたちは多くのボランティアの方との関わりを通して、学習の幅を広げ深めることができました。皆様のご協力に感謝します。

学校のことを家の人に話す児童の割合は昨年度と同程度ですが「とてもよく当てはまる」という児童が増えました。会話の機会を意図的に設けてくださっているのではないかと推測されます。

時と場合に応じた言葉遣いについては、昨年度と比べ改善されています。引き続き小中連携を意識して取り組んでいきます。

今後とも様々な連携を進め「地域とともにある学校」の推進を図っていきたくて考えています。

地域の皆様からの温かいご意見

ありがとうございました

学校評価自由記入欄には、地域の皆様からのご意見も寄せられましたのでご紹介します。

- ・野木小の子どもたちは地域の人々へのあいさつがいつもできていて、登校班で仲良く元気に歩く姿をながめると、なんだかほっとします。
- ・先生、児童、父兄の関係が良好であることを、学校行事などを見て感じます。
- ・先生方の学級経営がとてもしっかりしています。一人一人の子どもを大切にし、その個性を伸ばそうと努力なされています。

大変励みになるお言葉です。特に登校班のあいさつについてのご感想は、「あいさつが、相手の人の心に届き、心が通い合っているんだね」と、子どもたちにも紹介しました。

相手の心に届くあいさつを

表面のアンケート結果によるあいさつの項目は、数値としては指標に到達していません。日頃から「もっと大きな声で元気に」「自分から先に」



「笑顔で」などと期待をこめて子どもたちに呼びかけ励ましていますが、なかなかすぐに効果が表れないのが現状です。

そんな折、地域の方によるこうしたご感想をいただいたことが子どもたちの励みになり、相手の方との心の通い合いが次への意欲につながります。相手の心に届くあいさつが増えるよう、これからも子どもたちに根気よく呼びかけ励ましていきたいと思ひます。

2/13 今年度最後の授業参観・懇談会

午前中は研修・厚生委員さんを中心に体育館



でPTAソフトバレー大会が開かれました。試合を重ねるごとにどんどん盛り上がり、楽しく親睦が図られました。



優勝6年チーム

その後4年生親子給食、5校時授業参観、登校班保護者会、学級懇談会と続きました。お忙

しい中のご参加ありがとうございました。

授業参観では、1年生は外国語活動、2年生は学活で命の誕生について、3年生は算数で掛け算の筆算を、4年生は二分の一成人式での作文発表、5年生は社会で公害に対する解決の取組につい



6年生のスピーチ

て、6年生は卒業を控えた今考えることについて資料を提示しながらのスピーチ、と各学年それぞれ大切な授業を参観していただきました。

大勢の方に見守られ、いつにも増してどの子ども一生懸命な様子でした。特に一人一人発表する授業では相当緊張したことでしょう。学年最後ということもあり、それぞれのお子さんの成長を感じていただけたことと思ひます。

登校班保護者会は、野木小ならではのとても意義深い会合です。地区委員さんを中心に皆さんで子どもたちを見守って行くという姿勢が感じられます。今回編成が変わった班もいくつかあったので、来年度無事にスタートできるよう引き続き温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

鬼は外！福は内！

…学校生活を楽しく豊かなものに

本校では児童会活動の一つとして、毎年節分の豆まきをしています。古くから伝わる伝統文化に



親しんだり季節感を味わって楽しんだりすることをねらいとし、3年生以上の代表委員が鬼

に扮して給食の時間に各教室を回ります。各教室の児童はあらかじめ配られた豆を（2粒ぐらいずつ2度投げるといふささやかなものですが）鬼に投げて、退散させます。今年も代表委員の児童たちが早めに給食を食べて準備し、表現力豊かに鬼の役を演じました。



こうした児童会活動は、教科学習とは別の「特別活動」の一つです。望ましい集団活動や体験的な活動を通して児童の心身の調和の取れた発達を図るとともによりよい人間関係を築くため、本校では学力や体力の向上と同様に力を入れています。

年度末を迎えた今、児童会では6年生を送る会を成功させようと、5年生を中心に着々と準備を進めているところです。今まで野木小を引っ張ってきた6年生たちも楽しみにしています。

児童会活動をご紹介します

児童会は本校児童全員で構成されます。高学

